では、前年世際数の改編に

が出來るであらう。から強な

到って時に明示したこと

聚湖立、林墨文章

は近にこの一つの訳を一つの歌

統制大綱が決定し、同日情報局

性を効率的に後期するための確定をなす國家後知の週ガ性、機動 しく國家諸助員計畫と表裏 決戦下一般力増强の建削上監然

十六日の階級において明年度

說社

明年度豫算の新構想

由よりの機可取機特別費出市本

いま取局は日夜日まぐるしく

はねばならぬ。

ここは、河に容がしきことくい

支那事職物機以來關案が政は極

力の増強に科器技術の向上で、

らぬのである。して見れば輸送

開き企業整備資金措置

【東京電話】大殿省では十七日本

は年二分(一年を一事物年成)

優の公報において反脳軸軍が十七

いおよび東子籍に爆撃を陸塡した

園定資金 評価では 関本準決る

ガリヤ空襲
反樞軸ブル

第一回企業整備資金委員會

般面に納入れ地野等に断股

に對應し、難に臨機受信の監察

ず、立備的、動態的、理重版的と の性が高くなればなる程いつま 時國家財政の組み方は時局緊迫

ならなければならぬ選擇である

新年度豫算を職成する以上、

大東距、競争物強によつて

化ら、態党語所に儲する惧れが

事項等決定事項等決定

腦小鼻高腦腦 毒心 血溢統 症怖耳壓血病

しして特別經典を許可することと

による公領地競抑制、各時別商 る人件物館料、普頭蔵人樹加

つたのである。

ぶならぬ。 同事無法の機構と取

の自給増減確保を設置とする地方 増殖を押し企業態脈の完遂と食糧

即能に掛料し國家の別集

機的運営につき協議服設を行ひ訓

【東京電話】洪城下城力の飛躍的一終了するが、開會に先立ち午前七

あす臨時地方長官會議

型破り重點的協議

(可認物便郵酬三第日十月八年九冊拾明)

複線(F) 当城南南第一年の横蛇=薩軍省中開道

建設の頭はたとへ暗中収率の足ど

アナノスデルスナト目間と D機動アウトナンステルスナト目間と D機動

デー島を爆撃、

さらにレンドバ島上窓において、

日米兩國の航空部

ニャ島のナ

朝鮮支部設置化學工業統制會

跳職してゐる 際といいので、中共首脳部と

る新中國市隊の戦争しさ、精織政策第一様に對する皇軍の

新生中國の精鋭

運滅の版意を閉揚し同志的結合と 命達成を期すと力脆した、特に各一て

ため食物、一般物質も安定

川湯 今春の街交新方針に伴つ

たとの威説もめつたが、斯人自

北支派遺電補鋭の編みな

恒、馬敷など覆近相線いで和平即 腕柄動將軍をはじめ孫服英、禁日 燃へ参加堂々と新中國建設へ死身

華北における流脈力の現一國参戦の興へを衝瞰は大きかつた

りに個へられてあるが』

敵戰區、

今や四分五裂

新經濟政策も實踐へ

新構想に依る妙手期待

からである、このとき大東亞戦争の兵站基地華北は太平洋總反攻を喚くアメリカ、まことに戦争はこれ決戦段階に突入した、ビルマ奪還を叫ぶイギリス、

能を聴いた【富二川湯特派員】

決戰段階に突入した。

100 X

|特別協願會な後熈部高級、児山帝||長田中嘉氏より朝鮮における個に部で開かれた内が地震野頭前頭網||中提出||長氏および草類局壁活がで開かれた内が地震野頭前頭網||中提出||長氏および草類局壁活が

半島の運動へ援助積極化

いて考慮、今でに建済管施中であり運動については興配照本部にお

は前の容器を行つた、なほ子後

派員を呼び出し『決戦華北』の新姿は十七日北京支局に電話して川邊特で大使命遂行に選進してゐる、本社 電話一問一答 の再登場により 信念の政治家王克敏氏

見謁に席主汪・長員委新王 接の任新見關に第主任し韓和に京南政名が氏量原王長韓委領領員委約政士華 送電京南【部聯盟縣職於日五十】 だけ最を誘題を強しなを遂

周恩來急遽延安心歸還

起る戦時文化

めてあた、それが大東亜収録 によってその騒撃を断ち切り

治的ならびに選ぶ

紹介すると、中國

野文化の一環として中國文化の淵 が包んで若い中國の魂を駐痺せし

てれを米英文化の妖

っるに至ってゐる、命回の國共

| 佐蔵龍された中央軍の西選による | 宣る歩哨級を設け新華日報の武遂

日・特翰・八月城・定資

夏季の皮ふ病に

は、聖日別語な面は解放 「歌歌日頭前の歌話記事な の歌が日報は中央が東六 の歌が日報は中央が東六 い歌はを接て人籍田周盛 たため、内殿の節標一度 い、これは日本ならびに ・の馬五帆部駅の所為な さらに降代行、胡条南

解放を機質に蔣介ソ職の第三イシャ 簡素を綜合するに、

機然中共に動

流音度を

刊』『作家日報』の設刊など新文の先曜の教文権誌』の創刊『文章集 林秀雄三作家であるから今後の日 華文化の交流も約束されてゐるわ

間が氏らを 中心とする 大陸文學

のである。

食慾增進

事長同校教授儲小石氏が就任しそ

際生活分野がら監視文化の向上を

してゐる、その他周作人氏、鍵

2





しかして朝鮮においては開

世紀、理が長



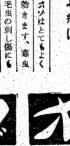


(東京電医) 仏様工製機制管では かねて内が地を加する仏様工製の が自搬に支部を発過すべく質量に 関中申続中のところ、このほど敷 での改正公布をみたので直ちに設

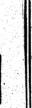












効きます、毒虫 オソはとてもよく







一〇〇錠入

水銀が零下卅條度を示す股製の日

群滿鐵青訓

傾けて對岸の一木一草のゆる名 夜と豊のけじめなく歌風の空間

しかし南年選にこの日本精神を吹

君國に報ずる魂

徹底的猛訓練を實施

見られぬものである。精本機能 る人見遊さいと照顾の立つ機関 社員の海は極端の形なく

開所以深覚に十年の歴史を持ち百

上町公立青訓

験名の生徒を擁すること海外上町

本年度麥類供出

谷道蒐荷運動進捗

小口の産業資金

業者指導に萬全

示訓長局産殖

り六月末に至る朝鮮對内地類易は

第一線實務者の協力に期待

て十七日熱照所に開催した各道商業、関丁県兵會職は上龍瀬番局長出席の下に

て、これを前年同期に比す 移入超過二億二千六百萬圓であつ

數物非常增養强悶運動、重要繳物增壽令敗正及び地下實調開發悶死以

四、移入一億二三六百四回、移出

施に期する各種原務打合せを行うて終了したが、南上に述べられた極層局長剛示は次の通り 原一戦する戦略へ初めての試みとして

對內地貿易減少 上半期九億九千萬圓

上平期に於ける對內地貿易につき網督府財務局では集計を終う

超過を示してゐるが、この人種は

半島農村

きのふ興農會第一回理事會開催

郷和三郎、櫻淵秀次郎、土屋供作 石坂蛟、恩山冥景、山口宜政、山 東南下の年島食脈像藍で難し感悟。及び應場所より上頭臨攻線長春出。 の四件を附離、上廊岸に底がより下と表裏一幅となり側面的協力を一応し、高宮會長流行不在の水の秋、昭中十七年茂決貧親告輩を説明しがと表裏一幅



紫光、秋尾唯の各理事、上野監事・一、規約改正の件8和三良 巻だラブ目 TEMP 生

1 、昭和十八年度歲入歲出狹鎮報 1、昭和十八年度蘇入被出狹鎮報 2

に次いで競索をる

纖維資源の節約

特選三席 海 玄 **第**大师文记 俑 胪 澅

我に必勝の成算 ゲツベルス宣傳相强調

足を終り各道に関係を發した。生産間の胼胝に極み、相信を中心及を変別の併出については丸、閉して來てゐるが、特に来破別一

とした神正食糧の地路に期待を

個子を内地に依存した関係からる を力を注いでゐる、しかし從

十六日间 图 路湯 相グツベル

を終つた、かくしてすでに

助をもつて努めてゐるが、狀勢は

國民に對するルーズベル 【ベルリン十六日间図】イター 英米の苦肉策 獨外務省笑殺

英國質相チャーチルは今回の

勝の成類あることを照例したが輸 単に抗烈な反隣を加ヘドイツに必

伊國にダル

機智所は食糧増産の決敗的至上命

食糧まで全般に亘る増重を展一

優良種子確保

先的に確保するやう道深して緊急

段階に入った、今や松棚園の入 吸局は今や武器による取びに加

観をもつて訓練を受けるやうにな

る、それでも艦隊主を脱き伏せて

年の選しい表情を私立黄海自動車 /われらも大君の御祖となる光榮 の日が近づいたマークとばかり、 黃海自動車青訓

とするのは御親の理受戦を下賜さ

南山に對ひて衣更くにけり 日木 観測

同に対対のでで、
大を国し首補は皆のびて
一回に対対が、
田原に関する
一回に対対が、
日のに対対が、
日の

文化だより

でにき船や架の花出田の後一

○林房雄氏 (日本文風語

興整 計 が 発

調研だし。あられは整備に富んだ個を原料とし時許法により、緊急されたる

花桐や牛の大市たつて

も確なし順仙花岩佐・穂居

功德山德林

かがやく してありますから、大県亞の國民族に乞召却女帝用して節力の治理・関妹で精久に樹馴物の告祖三官、謝助・アミノは、無機成分を追求で消化され場ではつば川原利に京弘・無漢アミノ越を座合した味と英養推開の成新期味料であります。 ダン・ザコ(ニボシ)の代りに。 使用法の 例 お恋師や好な、ウドンキンパに振り掛け棚間に舞る味と覚養が高っられます。お恋師や好な、ウドンキンパに振り掛け棚間に舞る味と覚養が高っられます。 小賣店 \$P\$ 三越。明治屋。丁子屋 日本 建洲朝鲜商事株式會社会 建洲朝鲜水産株式會社

りなさこの決敵敬言こそ正に告訓がすることなってをり、雄雄極家 の概

取であり、

從つて

ごゝに

数

育

北邊鎮護の戰士

逞しい責任感を誇る

と願くと誰も必不動の姿勢で答へ | 道に乗って來たのであった、青年

るのである。 本典はい過程での、これのであるのである。 東京の第一次では、一般のであるが、四に今年は改進を役割と称ところであるが、四に今年は改進を役割と称ところであるべき結婚がなり、四に今年は改進を役割とある。 大学 (1984) であるが、四に今年は改進を役割した。

銀へる着人(使見書訓所







【ローマナ 大日 同盟】 ルーズペー・フェノスアイレス十六日同盟】 **町巌を覚施し武士道精神の階捌を一を期してゐる、昭和八年開設省時**

単の反縁をうけ攻勢一概性の状態 に陥ったがルーズベルトならびに 【リスポン十六日同盟】反帰戦軍 へ脅し文句 笑止、伊國民 (愛麗朝)と クにおいて大統領選集職に共和 米英共同聲明

第次羽大統領の有力候補とされて ゐるアメリカ政界の概題ウェンデ

に配給するのだ、それも少防膜を

南國政府はアルジェーその他一切

半島油 業の再檢討

厥の節約について技術的研究を行

ことになった

とに内定をみてある。

格検査と適正配給に萬全を切する 各種繊維明濃の繊維資源の約に開

何的研究を熾烈に裏誦されつくめ

一個における現下の繊維術館状態 | 株工業會、 異展研究會その他鮮内

織協に技術部新設

配給は勿職一部を内地側にも配給 保が困難となりつゝあるので第三 油脂酰制酸では南方よりの原油解

二人の不平を、そんな風に富田

さてひろめよこの正道を る浪はかつ碎けつつ

んだけてかへれ州つしらば 長明演奏會

京の俳声 幕院をより一京の俳声 幕院をより 商至純なる國土盛となって、かの 『海行かば水づくかばね」と共に、 里吉好要子さんが近く京城を去る師ともいふべき杵屋五三江師とと 師ともいるべき杵屋五三片 理干積留では出在近人巡察 を乗ぬ五三江脈巡城記念の









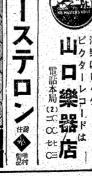




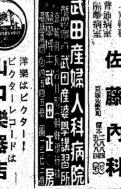












佐藤 内科 本藤 小五郎





自行子となる。 新療法 進 呈 無代

八月號4 ・雑じの樂で出來る國債の新じ、貯金法八月號4 ・雑じの樂で出來る國債の新じ、貯金法八月號4 ・雑じの樂で出來る國債の新じ、貯金法の一人職の増收体験

夫婦。道

出均、移入被といる宝旗を生ずる

英四(約廿六倍)及び漁和八十一

検討と對策模立を坚認されるに至

投資も絶對決戦型でノ

券證田秋

しかし南方よりの原油線送は一 に取品の推移如何にか、つてゐ るので見透しも困難であり結局 財内油脂工策は東大難局に立つ こととならう

省で財を存分に設御させませる 田岬の柏田に燃く順家が東京する

.....

(tox)

あ 老 百

海

[3]

千原

し明年度練越の方針であったが現

日七十九萬回(十九獲線)の頭「日七萬國(約五億)砂瀬四百九萬 の工代、兼安素大豆が六十三 の住職職物(久づ入を含む)の五あつては、兼安素大豆が六十三 の住職職物(久づ入を含む)の五あっては、兼安素大豆が六十三 のは職職物(久づ入を含む)の五

にも 潜んである 場合すら多い。 ならない▲磁は何處にあるかわか るだけに、構へは脱重でなければ であるが、防装とい 政と終日版ふとであ いまは決殿防禦過間

我が船泊てむ磯の知らなく

れて群けて裂けて敬る

機ごとに海夫の釣船沿てにけり

の意味に受取れる▲だが、町館 資が不足しますねゃと、 かつたとが察せられるのである。 なばらは古代人の生活にまで染 の比喩として用ひられるほど『う 大舟の思ひゅめる舞ゆゑに聴す

同僚、 别友、整子に 与然放生上

も多く、海と人との開墾の路に深盛んであつて、海に生活するもの

んとしてゐるのである(をは

に見ても、奈良朝時代既に漁業が

の表現に見る郷田県政な関税新属 を増つて、営き個々をも八十類打 かけて引きようる郷く平らかなる 関とならや大連想を乗け騰ぎ、今 とこの所を得せし かん、引きならなばらりの師博機が がれ、引きならなどらりの師博機が

クスパイは身遷にありゃといふと

版る父母を置きて、文部人職呂 まにやどりするかも、雪宅城昌) DOは、十指に除るが 一を回目人一首の中にも、海に関

るるはは

医学博士 中橋幸馬 西川明町四一 電光③1960

神ならずたたへる水の底までも 当にふた心わがあらめやも 昨年第一回の河勘院近大會を あけた朝鮮河側文化協会で 演劇競演大會

年もまた、その第一回跳面

附鄉病室 普通病室 佐 2

燈台に聞ふ人々の問際報告記

[2]

といる

島を出てか

太敬をたたいて越えるものもある

んであた、私には気がついて廻る

たけてきたものの、然し釣や泳ぎ た台長は潜つて魚を突刺すのは容

若い機職技手の

勇猛心を振

よ、月ばかけてあたが響もない腹の立つやうなのがありますというなのがありますといっていからいます。

す、夫婦岩が動んで見える、その

看の彼方面かなる水平級に開かに 目が昇る、服然なる一瞬一同思

遊谷台長は

島に職を告げたのは豫定よりも五 時間遊れて戦闘前だつた、軸に戦

総既の腹を聞くれだった波が

成する、無例い海上に繋が悩みの 何的なく打ちあげて娘の飛沫が四

一郎その姿を見せてくれない。

館して行くといふから教育を抱へ廻る

船乘が嫌ふ長山串

戦後減少した遭難船

記員派特山須

は來たのだが機器に包まれた認は ら七時間線の中を潜りぬけ潜りぬ

代りに手製の天秤権をかついで的 る釣の名人だ、非番になると魚脳 四年になるが村の漁師が開資けす 行一神からこの場合に発行して湖

舎には関風が通びな欲が充ちあふ ひには勿僚ないほど盛々とした官 家族を仁川におく台長の一人住ま

水に潜る稽古

遭難船があ

ひ起した

大第と熊灰色の表制に触り野獣となつた。エメラルド色の海面

耳朶をうつ、一般の中から立と

汽笛信號が

命を一枚の命にむしを時代から組

に上るわけであるが今まではこしく耕作される土地は五百四坪

蔬菜の栽培で食糧増産へ

やう

比島留學生團

きのふ〇〇着

でも食物物での一般に積極的に助しても食物物での一般に積極的に対し 員すべく全國の寺院、戦団等の境

【OO同盟】新生比別の未来の指

壁に耳あり話すな軍機

日南方特別留既生成二十七名は旅

決戰

、生擴陣起つ

人の勤勞助員を行つたが活酸な報 成道場等を開散して延人員二千萬 一萬ケ所の保育所、五百ケ所の 「東京電話」文都省では先に全國

徴兵制の感激も盛つて 領せられ之ら寺院、政務の境内して自分達が作つたものが飾られる頭の教育寺院は其の数十茂と一丈来さず才を一番上巻以上中の もとに肝圧能で明が、特に國際

ら元成務工資際所會應常に開

限師の町板修理などを質施す

週間中の行がは左の近り

全鮮に展く無駄なし安全週間

| 八月九 | 八月九 | 八月九 | 小 海災防止日(怪) | 株火災、※輝の | の防退、

民が参集して問週間の改

限に對する症命が結々加重さ 成下、統後而学人の生命地

の六日間全解的に『無駄なし て打合せを行うを結果、質施施度制、質施方法などについ け、週間中は從緊急世名以上 期間を設備期間(八月二日か 十五日から同廿一日名)に分

演劇への方面へ急戦後を逃げ半島

史の上に動物的成果をもたら

宣陳、文化の各部門の活験なる展

7中旬から十一月中旬にかけ一個

が留まれてゐるので盛況を豫想

兄、室四日間に亘り第二回演

営利本位の治域から優全なる國民 | 明年に控へ半局同胞に對し竜長制

第二回演劇競演大會近づく

れるに至ったので朝鮮的院並れるに至ったので朝鮮的院が

一五名を最高位に全触の商取や

寺院の境内も

役

れに立向はせてある『米國の感徒 火と燃え帰り、海へ大空へと 場目指して志願、はやその のかるの難叫びは

> に所念いたしてゐ东す **微兵制記念放送**

この密節が許可されることを神一成、被兵に因むプロー色にぬり記る本権はありません。たいた。 て、一目から一週間和忽帯網を続 解はもとより東亜全域から深層の をみる年間の徴兵制に寄せて内 々八月一日を期して歴史的な疑 脱蔵と共に、内外地あげて 週間プロ編成 京城放送局が 制時軽軽難プロや級所ける

至の決戰場へ半島の學徒殺到

行は比別行政府推開者四十名

の赤誠天翔けん

强い兵の母たれ 趣旨普及講演と音樂の夕徴兵制度

十後七時から府民館大熊堂に開催 一般の一般心と音樂の夕は十七日 **海野志願兵後援帝主仰、京城府** のため國民郷力府縣盟、京城府 原地大佐登城 早島

挨拶、半応のテナー永円絃次郎氏一

図マラカニヤン特股際で場で日 治大量を のがあった、一行は丸山山旺に1

糖の密膜質を開いた 及び朝鮮戸暗伽曹では十七日午後

新院新原側につき灰の如く酔る行『劇而』で十八日朝入城、氏 して死鮮の日本新版會解成都長 より鮮内新聞幹で戦成會に訪師と【釜山電話】朝鮮新昭會の招悶に 香氏は十七日夕郷釜山通

火地の協定が問題一行は大阪を出 見浦にて給木特派員級

四以來益々元氣で十六日は明れ渡 開海の朝日間にて沿院き太平 で探練の大和路を辿り夕刻二見 横原神宮に参拜、終 周回を國別献金として差し出し、 谷東昭長はじめ昭良を指く感動さ

本社寄託献金

めた、明くれば十七日もまた

| 「原本」 ◆五十回京城府新町一 「原本」 ◆五十回京城府第次点町 一公四代十五 四京城府第次点町 一公四代十 又 ◆十回楊公保線區 「原本」 ◆五十回京城府新町一

▲十周楊平保線圖蔵平線

九百四十一圓六十一 百四十一圓六十一錢

です。きいかが良いない。というです。さいかが良い原理を感用した新いの貼りの貼り

先づその先頭を切つた

た。これまで無数ないと縁のなっ つた台長の販賣に對する意欲は

た、総裁模が終しくなつた、風の 。この局に深て勝を六十尾釣っ」まだく、今年はこれで内をが足ら、 た、総裁模が終しくなつた、風の 。この局に深て勝を六十尾釣っ」まだく、今年はこれで内をが足ら、 とのが遠端ですが、以に入れて、ないのだと上海の祖口を享くりあ

動るのか拾ふのか判らない台長の

釣販騰の中には烈々たる闘魂が宿

ましてね、無台の奥さん方 『この脳の海岸には鮑が澤山る

されてゐた

やごみがいまを掘りと吹き取る

は水を着つて魚をとる脳の無節や

は 三人 ら 別れを悔しな 選集を刊行 人東亞文學

から十個の理解的があつたが設備 職保されるのだ、合長が着任して

はなくなった。目と異の先にあ

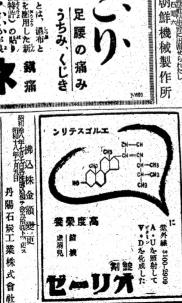
で密々協選中の寺内、原際阿元

表深 大阪には、











園 (※要三十終)



り」があり同九時閉囱した 敬ひ方指導『我らは長に召された い五十分に良り齢減あり永田氏の 府厚生のタ 京城運動場で 华心に戸紹令が布かれてこの七月 一顧談に賑る 昨夜、戸籍座談會開

合唱圏の可憐なる合唱 窓々京框架隊の勇比なる吹奏架で

> 局、外務、文部、海軍各省、陸軍 間に澎湃として漂つてゐる、これ

3

Zar b

報道部の後扱により『大東范文恩 わたり刊行、潮洲、中國、秦、

整備を促進するため総督府法務局 から施行する磁兵制に備へる戸籍 でちやうど廿周年、懲々八月一日 座談會は民籍法施行領時の思い出

> して出場する 秀な遊手は九月下旬京城で開催す業會館で行ふが、この結果成績像 手を京城に採め廿五日京城 脱技大會を開催することに

後、管時支佐文化の様世の低かつを中しる。
おから日難令施行の窓師に致、更にる。 新聞は思想戦の兵器

比佐新聞人鎌成講師の入鮮談

母近各方面から様式といふこ

びぬ身はせめて戦金で御國に

さんの赤誠 軍國の父齊木

氏で昨年京で六年間同町熱代とし て町敏族に懸葬して來た町の功勢

と十七日曜山戦を訪れてポンと 二-- (1/4) - (1/4) - (1/4)

を終めたは ・ 夢集人員 ・ 脚募資格 ・ 脚募資格 ・ 脚募資格

フアミ

りその具態的質施契網がこのほど 蝴取罗克名子今 をごり 局血壓 因から治療せよ

時半島恐信事業の負荷する近命

全鮮の競技大會

競ふ通信戦士

6. 風 四

・ MR をリウマテス!
・ MR を開始がけんで向れるとは一
・ 自星・大阪市・ 人意図の 高端側
・ こ・ディー の の でんして

今津州研究所へ選巡なく行

日本一世紀

一萬圓を献金

を手紙大寶川 (1) 別の (1) 財 を (1)

頭疲胃 痛労に

5

か其

0

生活、

か

5

床屋さん張切る 散髪で献金

数を致されば南方の兵隊さ

さんの勝域も今一息率公の

感謝の献金に影響と

ラジオ

1813

…・テヨキン

の情に ままり こうて文字通り こうて文字通り

三年までお手のもの人間

學1台之國五

古で見る一千瞬の國防駅

工夫が大切ぎと

[9]

体を利用して午前八時から

食物の適正配給を期すしてれこともに池が五月上前からさ

幽靈人口が六千名

一般から猟情され且つ逃見正雄君

五十國を審託して保旨を破滅せし を訪れた風質動務宮田沼 英氏な

『正雄君に差上げて下さい』

(11)は影脈中學一年に在別中で同

進すべしと道民三百萬の管理を大

迷つてゐます 懷中時計が宙に

つてゐる ことは 既報の通りであ

奶、洪服下时、海出西、海下粮

曹、剛曼に對する協問袋商皇など

郷を帰め恒卓は近返じ近戦を行ひ

色をうけてある、此間落に混

では恒例により確認を駆行、各種一注入するとへもに消に割する正し

ロ日 第三回海の 記念日仁川 内製電をちに端準なる海洋精測を

っ地中の一年生佐藤宏澄(一)は右 運搬手に何れも瞬間、簡単飛客か

海の日に學童達が海上行進

僕ら七洋を征

行してゐた者もしくない状態でこ

府民に夏順に

城府では退路 職を普及し自 つ生活の改善

勝つて増産へ無成へ繋がべきは隻 でなくてはならね、この試験に打

央戦生活の建設は主婦の創

ない蘇草が立派な主食代用

つである、食糧間

食糧問題をかうして解決

決戰完勝一八

町内地人貨座敷業娼妓二百五十名。 町内地人筑座弥楽嬉妓二百五十名は十七日午後二時から堀山區彌生

炎熱の

ると共に、今後も取職の手を強め | 奉釈行小を 盛大に 他すことに

(き)を御袋犯として連捕したが、一倍日には木

ではこの優と網路區に海町地学版 | 競布・海小等立も行ってある。例 | 武城を粉砕して沙豚なヤー」これではこの優と網路區に海町地学版 | 園抜き敷ケ所に表立、放戦セラの | おつと屋幹に額用心、貴東な働奏

は珍しい館車と貨物自動車のサ

三重電車事故



武道納會、武德會龍山劍道武德會の、龍山區元町開鮮 資材蒐集にカ瘤

月の誓ひ

第して 資材の第第に 努めると共 正確】動でな金融的松炭油の樹 では金融的松炭油の樹

なった。加太郎は、朝からば 『川田加太郎は私ですが、何か用 加太郎は怪器な似で相手を見詰

た。行つてみたくもあるし、

好 数名募集

大東亞ユ

名

在

京端藤瀬

型音風程度所収内中間 水貸事務所 水質事務所

整田邊新藥部 養衛四日(養堂儿)

ふきがあったとしたら、全然物食

本町鐘

動員 夢 学 と 若 婚・養養者 女子 女性保護の立場から・動員 厚生保護の立場から・動性 動勢への女子の適性・物・の女子の適性・物・の女子の適性・物・の女子の適性・物・の女子の適性・物・の女子の適性・物・の女子の適性・物・の女子の意味と方策・自動・などの女子の意味と方策・自動・を表している。

れる、その個力造成に最も広郷す

観いこと人言はねばならぬ、

は一般に無関心で、これを不思惑

榮 養 分

我々も世回以上は唱楽して歌的に

工夫一つで主食になる

が、というない。

医学博士 白 川 東京城元町一丁目一〇八 (元•平岡医院 時) 電話権山④ 1151

原風 星 群 等 將 棋 谷

松竹莊の武夫」 金素素

1 原族

注意ス 接客業者に講演 ゝゝ゚ 質施してゐたが、十八日午後一時 同防謀勘演命】 イの耳

留店に別れた

タイプ印刷

現象は日本少國民日本二ユース

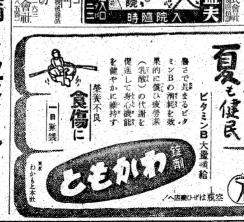
その男は、息をはずませながら

三號型(十行)



大東 東 戦 史 一人一後 生初

◆歯痛∵**セドー 製雕品村



村上松次郎(籍) 夜 か月口に訪ふ者があつた。歸 京日 一號型(三行) 二案内 世二六番 菅族院 産がたし

千代田生命原支社 原城原共通 10

大日本紡績原

灩記

『はい。そんなに叩かんでも、今 やくことをしてあたので、治臓いいてあたのであるが、一生臓

家庭見習急入用

|本ニユー

大日本紡績祭野順大日本紡績祭野順(大日本紡績祭門)(大日本紡績祭門)(大日本統一)(大日本統一)

日本ニュース 山西の民と土地 山西の民と土地 野球 解 時 報

ってゐた。脈脈を左手に持つて、 であっどの家を探してゐるんで ふことについて、加太郎は鑑識す 本 二 二六ル K を ま 1 二 六ル K を を ま 1 二 1 元 M を を ま 1 元 M を を ま 1 元 M を を ま 1 元 M を を 1 元 M

加太郎は、相手がまらかつて発

思ひ、そのやうに

『韓車第四十一番館の三階で川田

二號型(五行)

東邦商工社 タイピスト採用 朝鮮銀行庶務課

命殿支店

大八三百間は十一時日ヨリナ九日マデ

哲學博士 繁新







好い時期でするが一番

海一张惠克里 更图公司 村 · 卡罗 · 人 王藤武城 村 · 卡罗 · 人 王藤武城 市 · 大 · 王藤武城

回收 機構ノ整備

能率府區等四個別所長 (11)

任道が国に昇進した

能影 自石光治郎

白石光治郎氏 愛知

北知事自私光治即氏が滅信局長に伴る疑動を十七日附で優令し、平 平北州事には信原州産局別任事務

総務局監察課物務を命で 在本府事務官(1)

四四城、大正十三年與大法縣

事(上)是即動任郭務官】

オリ

3

任平安北道知事 (L)

意園に向って駅民は負荷せる。限に振り向ける問題である。

地區の一般断分去る。十二日赤年が一日下オリョール周邊地區でもつと、世により決定的機を行ち込まれク

部版談オリヨール、ビニルゴロド一て以來派次北方にその年點が移り 【ストツクホルム十八日同盟】 東 | 前線にわたり猛烈な反路を開始し

獨軍の、虎、猛威を揮

も類別な版勘が展開されてある。

行はビチルプロド地震に於く

が経験と低する

原聖

實施期間

遞信局長に白石氏

平北知事に信原氏起用

回收實施要網

ある

勢内地(自<u></u> 自 形 移 幣)及 少 先 段

禁制、特免品を回收

して第一次金融無非常同敗を整施して來たが、今回應に十八年史都被にわたる非常的敬憂納を加強の如く決定し、實施に着手す。るここある。これがため地議院敬定るを職態の職場をはかること。を養も必要としてゐるので、觀麼院では造來の時期自敬を購入、緊急演賞と 呪仏の如きは、近く設立豫定の朝鮮護薬物宣徳圏に於て、即は、従來の法分に基く物の外、別項の物件を追加すること

遊遊政策と関係語がなる決敵機関と犯入し、弧難破職事態を展開してあるが、戦力増強こそ今日の総對的緊急問題として提起されて

家庭用の眞鍮食器→買上實施

昭和十八年度金屬類非常

の協議を經て第三回委員員を開作 買収に開する整問風を決定し、調 既に五、六十年の開資を終った、

なほ発國職後の多談は十月一日上 の出権が數千台にの体ることは、軍が七日十日から十四日に至る五、一要合計総計戦トンに第十名と後のすることは出来ないが、米理(然は、十六日母別會報をもうて漢)派した原献戦略順に少くども五十つ。「それ」の非を たいこと

・九台を要失したと自 上年別において軍

々に買取開始

から近く狭定をあるものと思なれる

【ベルリン士六日同盟】継続大本

獨、シ島五日間の戰 日間にシテリヤ脳水域において無一表した

【ベルリン十六日同盟】ロNB 福軸空軍振ふ

上を撃沈破

艦船卅三隻以

土六日南風 米衛留局

獨、米の過少發表反駁

萬四千機

いて反陸戦災の追溯を阻止した

隻淵。を撃沈

あると感じ、極難型がエンテか 強してゐると述べてをりポポ

胸:

月の弱いがにく

心臟 動悸、息切れ、熱、ね形を去 モン精膽精薬 特種動物ホル

は、苦は大名の、種身乗や、動病の教念に、今はホルーの教心・原料の精繁、彫合・原路・原治・年末・夏珍・ 抗病・ルモンを増弱

泰 署 東京 七二 六 資 であ京徳二〇一 海 九 一 本 一 舗 ・ 本 一 舗

海 を科学する 展覧会

三百台喪失

三

图 類形然局

***************** 朝鮮國廟と細簾……五階時計の完全修理……二階等部の食料品詰合……地階等新向食料品詰合……地階

小児の發育を

編開天版大 此會資合屋標

効果再認識が必要です/ 教急 治病 保健の良楽 生育をはかるためにも

五百三十台之 方面の変形に公報

,4 ,5

物資交涉 對佛印供出

主婦の腕から 心からノ シンータだ 怪我や傷には 怪我や傷には

マルタン網派

交渉は国際

トに移して

はれてゐるが なに関する交

亜亜酸の第二七のる各國の一環と、開考、食物産院の決勝的登園と、 ついてである。本年の危勢を惊は、短い間壁頭の逃げくき方剛は、次東 着に駆する修理、題所局前會削を をとつた。まう第一に肥烈問題に 、内地原第と同一であるが、基 民衆感厥記して食糧増 顕微 は僅かに10%、加里に至っ

半島經濟の

相談の抗出を構つて官民の間に官然協問題である。従來米級その他

近郷設を 独行せし 弦

対流へ突き組みつくめる盗然

地肥の大地南を別行

十月までの別間に良

して、本年版から平年作を基準とてなしたが、腐鯨は亜塩引上価格

れば生調者観覚の大部分が同様に であるが、現在美へであるでは、既が負別するの指点をとつた。こ に語かずべきかな順重が第十八支にあって、現在美へてある。 これを近向なる方面 の半ばを前輩者が貧盛することと

かくる相近は内地と異なる題きを

の貨物からしてこの全員設立は必である。「が基础機民道を

、てゐる れば町又は歴場等の中堅青年を内 を主として叛定したが、時局の進 北海、また規に百名ばかり酸辣線大阪道あるか、今地源目標はまつ第一に でして之を起點とし地面指導が翻

原へ出張、月行療炎学務)

院經濟)大命

息

ちた

教授) 十七日

第四は、陸紫紫原は陸口の

別記したのである。かくして

投資を通じて戦線へ!

山雅恭株六

京城支店・夏 九社

高事解決 食器があき (盛) 事解決 食器があき (盛) 出る。これで、大抵の頼殿に気事際決 出る。これで、大抵の頼殿に気事と)

一部の知识認動動象会があつたの | 職長打合歯に関むこもってあたエ、 が十七日年前十一時、平北新知道 やうやく子後常様年がすぎて他感 に整施した強新励品は現底は手術性 を出てきた、待ち受けてあた記名

四のお祝ひの接拗のことはに を出てきた、待ち受けてゐた祀酒

語る信原平北知事

ら本府第四百歳割の各道顕繁、蘭

荒江小山は下服り越ス炎路域場の南

ある

わが例解にも態度が耐方からいろく

待つてゐたのですが限録の挑放と

ともに御用助として活躍する機当

してゐます、そのため直接作品製

全国を神経にして見張りつい

湯桶の中へ

れます、一些種を出れば新のみ始

附方凸質地の物質を競役へ進ぶ町

全く品幣なもので一同圏とはご療 時私はじめ飛台達の受けた感激は 死を個へて宮城を遙舞し英愛に歌 船は一同を中板に集めて元帥の記 やうな思ひがしました、私は早速

路1 潮洲開拓度行へ動勢率仕並に

りました、私道はいつかは必ずと「いふやうな始末です、この劇のグーです、風呂にもほんの一分か三分

これによると、従來大指ほどの

ン酸に對しては避夜全般負が感

輸送成上の機能液を硫後に第へるべくOHO 可心理へる海の沿窓日を整へて配着は貴重な の物道を積んで船がやつて來たて大東 **学院に大きた尾 終を適した信用さんの 一知事の追加さんが右目さんの後にすわり小磯鷸(いか) 大栗野南の戦争と さん 三関第1年 北の領がへ、さらしてその平北**

さらしてその年北

榮轉に喜びの 例氏

動の御要なる一所を関め

月一人切》の表情を使へよう

戦上の 戦山津長ともいふべき 信愿さんの知道 信題和拘察に張びい、職態指揮領リを見せて引

轉、頑張るよ

面をする感激の一瞬、場内は

決なの一端をちょつびり吸して食

信原され顕特の明明さを謝面にう

おのに着かへて今日で通

夏休に錬成

く無路をとつてやって行

族無法も最敬敬の中に敬慰さ

りを感じ我が子、我が兄、

様に見えた、五十の数を超え前は 日の光洋を修じて不屈な巡しさを 一語の優れを体めてあた

既に自殺ないったが難がそのもの

さのです、もとくこの最な原理 言語に絶す

南方の武士国の様に最んた輸送職(OH間の残しい治師ののち、義に 安心の色が充ち溢れてゐた『防凝 余心んから御別待にそびかねると

に治は礼た一前殿して航廷は調かに譲り始めた

〇港に行いた大阪階版〇〇丸を訪れた その時の歌戦からの認定はひどい と関係が深く大東部原発直前には 印度のカルカツタにゐましたが、 給せず出港の吹もよこさずその場 るので戦闘用の石炭も飲料水も支 精魂盡す。見張り 談長船〇〇 皮切りにフイリツピン、ラングー をめたへられジャワの上陸作版を一加の時より能計合頃の航海がつか ンなど各地に戦敗して耐いたでけ

なやまされます。数ケ月前〇〇时回だけ退るならよいがさうは行き〇〇〇神合を続行中でしたが、 |のですが時々輸送型の鼠の選擇に | 時である、夜は縄を入れて休み選 | 接した時で管度私達の船は附方の るとが出来たわけです、今は御監 日多くて二、三時間襲る、それも のやうに後方の輸送に借って 中涙で誓ふ山本元帥の復答

の深かつたのは山本元帥の訃報に と、どんな意味の中でも依然とし にどんなに必要であるかを著へる

せん、私送の連ぶ物質が戦ふ日本 音楽其の他に依るコマク破れ 夢的 製品ノ 町 自丁二り漁係四扇港市取大 会高ンソチエ 自丁二級別集件会議水米 却え

朗藤山道劉宗行/あかつき~で北京原大招談科生五十八名は十七日

ではなっている。 日本の世界の世界の中の元代をは一世の

依つて課題を下す。わが从をうけ 『やめ、返切者め、わが居を盛ん そこに待つてゐた一瞬な、 施州です、河瓜大都管の配と

安人叫真公 へ比重な規則 るしか、必要 く料の係ら トモン評儀社 型 古野家御川達 山•

月十八日午後二時間出三角地大念マニ☆子相宮

古丁目







かだけ中で行を開催する自和さしところを、捉へる、グおし さうか 任遞信局長、白石さんの決意

私事旅行なので大に語るのな 如に邁進

殿曹弘所有第二十平殿九七郎

初で神を傾ければ近力は三部以上 数千回を陳明郡立した。 皆ながらの《そば》や《うどん》一也へるといった決戦下に似合はた 代用うとんべてん川ではくと すしの値段改正 ~掘り~は一節七匁以上で十 は他の飲食物に相済まない、 [三溴半] 與前七里多家旅信撤沒 い飲食風味を悪してゐた、これで さんは此の皮新紙落成の破路場 鏠

定食も副演襲パンの代用食で一つて総核形では飲食物の質格均衡 とめ、兄弟をはじめ現生十名は歴史王明 令風の路和安(二)路和國(一)南京 野入京した、國国政府近端部次長 三名は十七日午前八時六分東京勝 四級政中職界生諸自見以政一行士(東京電話】南京キリスト教託年

質公室、 原側選長の集合を求めば 「 収別 間では去る十三日已内各 到達を開催し積極的協力を要率、

鍬の學生渡滿(紫

行って來い。然る後、随を容れ、 が文は心を飛げして、野へ駈け

ラスで 最初を主

を眺へ、離にも得らすなど、口止を眺んだ様子で、堕の男に測賞 問起題の側段に手渡した。 、堕の男に測蔵 スタカエレ教送ルリカー本 耳鼻咽喉科 医学博士 京城和信果





肌を撃げ 船が十七年度に建造した日下ン級権がする優秀なものである、この 颯爽たる朝鮮型試作機帆船 ば速力三倍

2 長から宇野府野へお土産を手交=新山要司椒 極高に於ける談美のひとスき(上)と期目市

實物||手堅し

變心

第七次銘柄を決定

機構はより優秀に別なたの法院が 関一、機制が3人と別なたの法院が こ。何で大きさの機械局上り積載が が3人と少くで選む で、機関が3人と少くで選む 一般をとい午後は三時から中頃大

数付きのグラレクは十段以内の 田昌平価に落着いた、十八日は日

凱髪成に使用する模様である

被髂裏費を献金

『仮とその楽朗とは、いづれが武場

の順へ紛れ入つた。そして、 恋いたっこれ

200時間 200時間 200時間 地心 火宛で、

光のある名 が1 が新くど 1







代到波田尔務副総長、空主臨管府松本大佐、總力帰園和號

経信が長は 十七日局民業で 朝殿は年話から 識する石 と数々たる気持では一年

産業戦線で奉公 退官の石田さん感懐を歌に

る、危険監域は松島—月尾島 っ、危険監域は松島—月尾島 三十分から十六時までに川附 人は就止する、なほ別傾開始 千米圏内) で危険區域への立 遊園地を中心とし半徑、終五節局をつらぬる線以四(松島

ら廿五日歩で三日間毎日八時

陸軍業部隊では來る廿三日か

仁川で蜜弾射撃 以て大梁裏哲の献士たらしむべく 熊媛県宮職等部では新卒業県生に「東京電話」就職級に衝闘中の朝 群島駅一ノ宮町、酢奈川職隊部町 到し日本制神の直顧を懲得せしめ 卒業界征録成會を質施好成 在京半島學徒

原を辿つた、なほ処理は高周波五とそれぐ一間方質はれてにつれて小糸製作。 愛知紙等、含成化、日里などそれぐ一間方質はれて振行掘ど、含成化、寒中製工、日里ない。 强 財閥株買氣 調

宗城曹田野

けふの市況(+智)

る時なのだ。勝取の鍵は をの時こそ米英の倒れ去 をの時こそ米英の倒れ去 吾らの双層にある

成る日、知の賦へ死て、 ものです。丞朴に協してお願ひし 木牛流馬(1)

と、質さと、態気は強いして、 と、例を解いて派出した。

死骸を臓 を臓を臓 うてあた

*

大部におって、やにはに痛笑へ 動ってかくった様子に見えたが、 まるで腕がちがなどみえて結み合 ったかと思ふと歌も郷父のために 矢野橋村(緒

國 志 髪の部出 吉川英治(作 [197]

後三